1 48 女 男 目 ス 予 11

人組性性ミポ備月

1

5

0

0

円

1

6

3

8

5060ッ1 日19

歳歳クツ11日 以以スプ月生

ブザ日

(日)

上上ダラ20

ル

ス

☎ 桐 10 壓 て 門 八 込

4 岡月 4 申部街方

4 寛31 4 し桐市法 3 司日 3 込岡体

み寛育

6 ※ に 会

3様 F テ

8 式 A ニス 意 に 専

司協

(月)

1

### 時 日 時 場会場 内 内 容 対 対 象 定 定 員 費 参 加 費 申 申 L 込 み X 締 8 切 ŋ 持 持 5 物 問 問 61 合 わ せ

### 街 男市 業 研 同 参 会 画 才 ラ ム in

お

5

ま

た

年

末

調

整

の

説な

の

FAX

 $\begin{array}{c} 4 \\ 4 \\ 4 \\ -0 \\ 8 \end{array}$ 

1 5

記号の見方

# `街

時交もくタ々 午12換っ働イが八 、車合受後月のてきル 公場保付18場生、に 、に農市 開たや、うを 催めり自ラ支 点のすりでする。
します。

**(1)** 関あン3015 mile をまり 利す

> 4政月料名あて規演れ例だ (るい就会か発 申方る農 ら表 き表のの あ農 り業 方に なおど 興 携 味わ のる

☎農11無80のつ新講 方者、 農農 業業 1212

をの調末象

開提書調と源

催出お整し泉

。 で与た成務 一支並28者

一支並28者 の払び年の

説報に分方

明告法のを

会書定年対

込 順

難

病

見

支舞

給金

しを

(

11

す

4 課18 日 (金)

D

# 電 F 話 A 申X 込また では

講 ネ30 演 ッ分 図 M A タチしき E 式 葉込まメに

2 **2** 

性郵込50お防 別便方名よ災スン後月

話 を 様

7

親

睦

テ

ス

大

会

を

開

催

葉

番法へびを館べ15 ル時日 タ30生 突 成分 田( 店 3 ア時

ボ 午 11

ク

申体テ 込験门 順講マ 座と L た

mz.pref.chiba.lg.jp

電号、 番住 号所、 任氏 意名

# の ※ 場 で駐総へ

然 のの 地 か を 1 記 ル人し る

参わ 画せ セ先

証

など

指おす 定持る 難ち次 病のの 方受

は

障

が

14

福

祉

課

13

義

0

預

金

通

帳

定 疾 病

凝者 固票

の月金在

提 1 をで

出日受八

が以給街

必降し市

要のて難

上ため有

月ま書年に書

29す館月活館

。所を用で

蔵経しは、

のてて、図役い市

10 げ図

日

(土)

5

11

月

12

日

(土)

`効図

世報 厚 集 定 原 年 記 県 本 で 長 に 張 厚 県 来 野 県 県 疾 受 県 計 証 寮 と を い 要 月 等 先 患 者 児 と ま で を い ま ま も 1 給 性 療 証 慢 **の** 0 者 血 受 0 証液給 大

・・申支 受申**請給**子千特医千受特給干 給請に額障葉定療葉給定者葉 者書必

0

円 を 企受い病 ※ あ ※・・支提な給る療 9 り申認本

4 V

## 4が給出り者方養月ま請め人 でがま証は者30す書印名 3 福きなすな 、見日 1 祉まい 。ど10舞現 課せ場 ん 合 は 見 舞 金 閉

架

## 合 同 行 政 相 談 所 を 開 設 時てに

午11本日普 前月を本段

週

時設て 駅 千 午 10 し 一 行 は 10 2葉前月ま日政行月 階都1021す合相政17市時日。同談相日 行週談か 政間週ら 相の間23 談一で日 所環すの なと見 ° 1

モ(金) ノ午 レ後 1 4 ル時 千 葉

課評 価 事 務 所

☆行平いど相にな登 2 政葉まの続関ど記 4 相行す法、す行、 °律離る政年 相婚相機金絲以 談関 談 も多なで保 無重ど行険 料債のう で務ほ手税 行なか続金

葉さおアす

県れよルベ千

# 大 め **の** は な 会 を 開 催

会 を 開 、ど普 1 けお 回た行はな

人っし

向て会

けいし

にまは

先

開す

申定費

☎図電図30無方

受け付い(申込順)

ま

た

は

館で館へ

けタ

まー

す。

書話書人料優

分

5

☎ 成 中 午 11 0 田央後月 4 税公 1 15 7 務民時日

1 5

署館30伙 催が子

∘世り

を

界を

楽日

し本

んと

で外

み国

4

4

4

9

4

6

まの <u>一</u>図午<del>11</del>せ昔ゆし

時 日 (木)

般書前月ん話っま年も段 ←館1017かのたすに向一 市 内 在 住 在 勤 0)

11

時

30

を 差 げ ま व

义

書目た民 を終えたる 間次※場※ ☎團第用團休 4 書終意書館 が 無 <

な

9 4 6

## 庫 を 開 放 ま 9 夕

前10時~午後4時月3日(水(特別開館日)を選ぶことができます。本文学を所蔵)に入っをます。 図に 付書 け館 力 ウ ン

# 葉 県 最 金 が 改 IE

最るびバて葉低地、イの県 賃域そト労内 金別のな働の 最使ど者事 10賃者含パ所 月金にむ1で 0 ト働 1 — 適 日千用 間にのか ☆労予改8ら 働葉正 1 時 基労さ7間 部局 し 8

引

上従

げ来

2 賃 た25<sub>2</sub> 。円円 金 2 室